

各 位

2023 年 10 月 4 日

SBI ホールディングス株式会社

アスエネ株式会社

SBI ホールディングスとアスエネの合弁会社 Carbon EX による
カーボンクレジット・排出権取引所のサービス開始のお知らせ
～国内大手金融機関グループとして初※のボランティアカーボン・J クレジットなどを売
買できるプラットフォームを展開～

SBI ホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役会長兼社長：北尾 吉孝、以下「SBI」）とアスエネ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 CEO：西和田 浩平、以下「アスエネ」）が共同設立した Carbon EX 株式会社（以下「Carbon EX」）が、カーボンクレジット・排出権取引所のサービスを開始したことをお知らせいたします。



Carbon EX の概要

Carbon EX は、企業へサステナビリティ経営支援サービスを提供するアスエネと、多様な金融サービス事業を展開し私設取引システム（PTS）運営の知見・ノウハウも有する SBI の合弁会社として本年 6 月に設立されました。この度、カーボンクレジット・排出権取引所を開設します。尚、日本の大手金融機関グループがカーボンクレジット・排出権取引所の開設を表明することは日本初となります。（※SBI/アスエネ調べ）

<ビジネスモデル図>



Carbon EX では、日本・海外のボランタリーカーボンクレジット、J-クレジットなどのカーボンクレジット、非化石証書の電力証書など幅広い種類を取り扱い、将来的には二国間クレジット制度（JCM）や ESG 商品なども取り扱う方針です。

これまで日本においては、国内の J-クレジットや非化石証書に限定した相対取引が中心でした。しかし、Carbon EX の取引所・マーケットプレイス型プラットフォームの活用により、国内外のクレジット創出事業者(セラー)と複数の購入者(バイヤー)が、さまざまな目的やニーズ（方法論や認証基準）に合わせて売買を行うことが可能となり、カーボンクレジットの関連事業などの産業を創出する起点となります。

購入者は、海外・日本の除去・隔離系～森林/自然由来のクレジットなど、各クレジットの特徴や詳細を考慮、比較しながらご希望に沿ったクレジットを購入することが可能となります。

現在、Carbon EX のプラットフォームの事前登録数は 300 社以上を突破、登録クレジットは 130 万トン以上、取扱う種類は 35 種類のクレジット・非化石証書です。また、当社の取引所外取引として、海外から日本の顧客へのボランタリーカーボンクレジットなどの取引実績を有しています。

パートナーシップに関して、三井住友フィナンシャルグループと MOU を締結し、カーボンクレジットおよび環境価値取引など、幅広い連携を検討してまいります。

また、SBI 新生銀行ともカーボンクレジット関連事業で連携することに関して合意しております。

さらに、カーボンクレジット格付け機関のイギリスの BeZero Carbon 社と契約を締結。

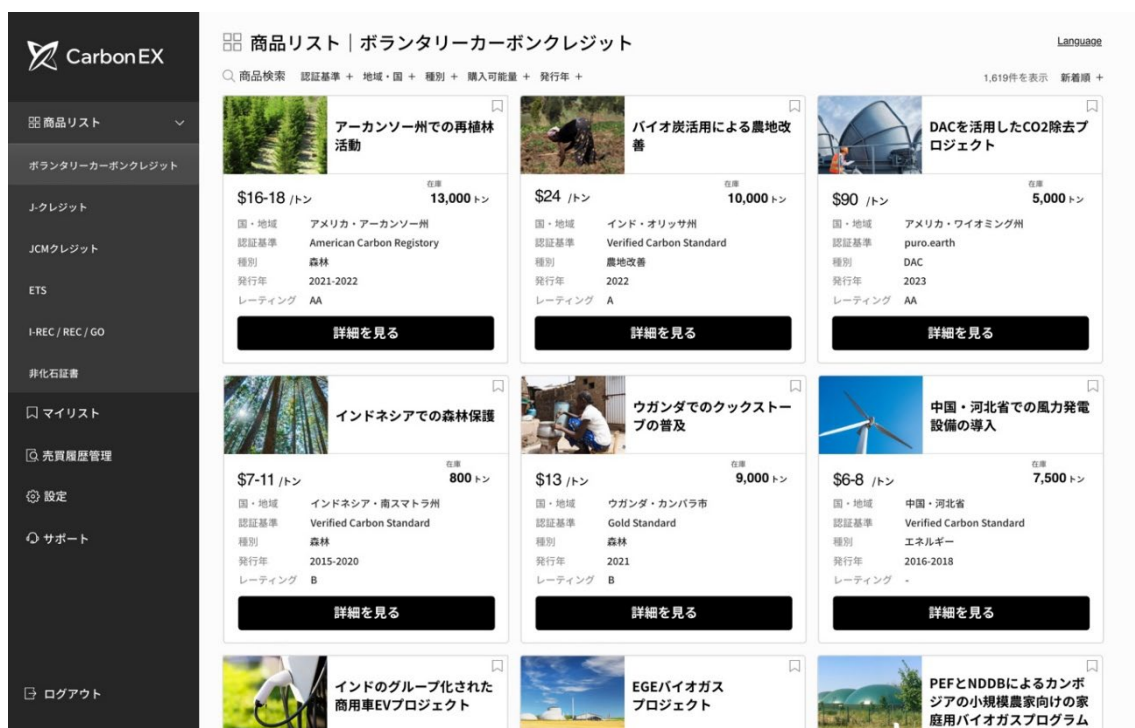
Carbon EX のプラットフォーム上でクレジット格付け情報を見える化し、クレジットの比較検討に有益な情報を提供してまいります。

既に一部のお客様とは先行登録を進めておりましたが、この度 10 月 4 日よりセラーの本登録、10 月下旬にバイヤーの本登録を開始し、その後、売買を順次開始していく予定です。

【アカウント登録・申し込み URL】

<https://carbonex.co.jp/registration>

<CarbonEX システム UI>



The screenshot displays the CarbonEX platform interface. On the left is a dark sidebar with navigation options: 商品リスト (Products), ボランタリーカーボンクレジット (Voluntary Carbon Credits), J-クレジット (J-Credits), JCMクレジット (JCM Credits), ETS, I-REC / REC / GO, 非化石証書 (Non-fossil Certificates), マイリスト (My List), 売買履歴管理 (Trading History Management), 設定 (Settings), サポート (Support), and ログアウト (Logout). The main area is titled '商品リスト | ボランタリーカーボンクレジット' (Product List | Voluntary Carbon Credits) and shows a grid of credit listings. Each listing includes a title, price per ton, total quantity, and a '詳細を見る' (View Details) button. The listings are as follows:

Item Title	Price / Ton	Quantity (Tons)	Country/Region	Standard	Category	Year	Rating
アーカンソー州での再植林活動 (Reforestation in Arkansas)	\$16-18	13,000	アメリカ・アーカンソー州	American Carbon Registry	森林	2021-2022	AA
バイオ炭活用による農地改善 (Farmland improvement using biochar)	\$24	10,000	インド・オリッサ州	Verified Carbon Standard	農地改善	2022	A
DACを活用したCO2除去プロジェクト (CO2 removal project using DAC)	\$90	5,000	アメリカ・ワイオミング州	puro.earth	DAC	2023	AA
インドネシアでの森林保護 (Forest conservation in Indonesia)	\$7-11	800	インドネシア・南スマタラ州	Verified Carbon Standard	森林	2015-2020	B
ウガンダでのクックストーブの普及 (Cookstove promotion in Uganda)	\$13	9,000	ウガンダ・カンバラ市	Gold Standard	森林	2021	B
中国・河北省での風力発電設備の導入 (Wind power equipment introduction in China)	\$6-8	7,500	中国・河北省	Verified Carbon Standard	エネルギー	2016-2018	-
インドのグループ化された商用車EVプロジェクト (Commercial vehicle EV project in India)	-	-	インド	-	-	-	-
EGEバイオガスプロジェクト (EGE biogas project)	-	-	-	-	-	-	-
PEFとNDDDBによるカンボジアの小規模農家向けの家庭用バイオガスプログラム (Household biogas program for small farmers in Cambodia)	-	-	カンボジア	-	-	-	-

Carbon EX の 3 つの特徴

① 世界の幅広いカーボンクレジットの取り扱い

ボランタリーカーボンクレジット、J-クレジット、非化石証書など幅広いクレジットの販売・購入が可能です。日本語・英語版の両方があり、海外企業も利用することができます。また、24 時間/365 日、世界中のカーボンクレジットにアクセスが可能です。

② カーボンクレジットの高い信頼性

Carbon EX では、KYC*などの審査プロセスを実施します。また、高品質なボランタリーカーボンクレジットを取り扱う取引所として、クレジットの評価機関・企業と連携をすること

でクレジットの品質を担保します。

③ カーボンクレジットの創出や購入コンサルティングを提供

国内外のボランティアカーボンクレジット創出事業者への支援や、お客さまの目的・ニーズに合わせて、クレジットの種類解説や提案を実施します。自社のクレジットオフセットの取り組みを外部公表することによる PR・ブランド向上を支援します。

さらに、Carbon EX で売買したカーボンクレジットは、CO2 排出量見える化・削減・報告クラウドサービス「アスエネ」と連携させることで、お客さまの利便性を高めて、適切なカーボンクレジットによるオフセットの提案・コンサルティングサービスの提供が可能です。

今後は、Carbon EX と他産業のシステムとの API 連携を行うことで、カーボンクレジットの社会実装に取り組んでまいります。

* KYC : Know Your Customer の略。主に金融機関の口座開設やローン申し込みの際などに行われる本人確認手続き

カーボンクレジット市場が成長する背景

2050 年のカーボンニュートラルの達成に向け、世界的にはカーボンプライシングによる排出者の行動を変化させる潮流が高まっています。日本でも成長志向型カーボンプライシング構想が掲げられる中、脱炭素化が困難なセクターを中心に、新たに CO2 排出量削減価値などの環境価値を購入することにより、CO2 排出量をオフセットさせる「カーボンクレジット売買」の需要が増加しています。その中でも、企業や NGO など民間企業が実施しているボランティアクレジットの売買が活発になっています。日本政府が実施している従来のカーボンクレジットと異なり、国や自治体の規制がなく、企業が幅広い用途で活用できることから、市場が急成長しています。

Carbon EX として、日本・アジアでカーボンクレジットを基に、新たな産業の創出にむけて尽力してまいります。

Carbon EX 会社概要

会社名	: Carbon EX 株式会社
代表取締役	: Co-CEO 西和田 浩平、Co-CEO 竹田 峻輔
所在地	: 東京都港区六本木一丁目 6 番 1 号
設立	: 2023 年 6 月 2 日
資本金	: 1 億円（資本準備金を含む）
株主構成	: SBI ホールディングス株式会社 50%、アスエネ株式会社 50%

URL : <https://carbonex.co.jp/>

SBI ホールディングス 会社概要

会社名 : SBI ホールディングス株式会社
代表者 : 代表取締役会長兼社長 北尾 吉孝
設立日 : 1999 年 7 月 8 日
本社 : 東京都港区六本木一丁目 6 番 1 号
URL : <https://www.sbigroup.co.jp/>

アスエネ 会社概要

会社名 : アスエネ株式会社
事業 : CO2 排出量見える化・削減・報告クラウドサービス「[アスエネ](#)」
ESG 評価クラウドサービス「[アスエネ ESG](#)」
カーボンクレジット・排出権取引所「Carbon EX」の運営
資本金 : 25 億 2,681 万円（資本剰余金含む）
代表者 : 代表取締役 CEO 西和田 浩平
株主 : 経営陣、インキュベイトファンド、環境エネルギー投資、STRIVE、
パビリオンキャピタル（シンガポール政府/テマセク傘下ファンド）、
Salesforce Ventures、SBI インベストメント、GMO VenturePartners、
Sony Innovation Fund、GLIN Impact Capital、Axiom Asia Private
Capital 等
創業 : 2019 年 10 月
住所 : 東京都港区虎ノ門 1-10-5 KDX 虎ノ門一丁目ビル WeWork 4 階
URL : <https://earthene.com/corporate/>

以上

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：

SBI ホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126

アスエネ株式会社 （電話）050-3188-4866

（お問い合わせ URL）<https://earthene.com/corporate/form/contact>